

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道289号 甲子道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県南会津郡下郷町大字南倉沢 至：福島県西白河郡西郷村大字真船				延長	5.9km
事業概要	一般国道289号は福島県いわき市と新潟県新潟市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携を図る幹線道路である。 甲子道路は、西白河郡西郷村と南会津郡下郷町間の通行不能区間（L=6.9km）の解消、および南会津郡・県南地方間の交流促進を目的としている。当道路の整備により、福島県県南地方と南会津地方の連携強化が図られ、地域の活性化に大きく寄与するものである。					
H7年度事業化	都市計画区域外	H10年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	約190億円	事業進捗率	53%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	4,900台/日					
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 2.1	総費用：(事業全体) 196億円 （事業費：188億円 維持管理費：8億円）	総便益：(事業全体) 406億円 （走行時間短縮便益：368億円 走行費用減少便益：23億円 交通事故減少便益：15億円）	基準年：平成16年		
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 【事業全体】 交通量変動：B/C=2.3(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.0(事業費+10%) B/C=2.2(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.0(事業期間+20%) B/C=2.1(事業期間-20%)					
事業の効果等	・物流効率化の支援（南会津地方における農産品出荷ルート短縮により利便性の向上が期待される） ・国土・地域ネットワークの構築（通行不能区間6.9kmの解消により地域間連携の強化が図られる） 他13項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	甲子道路は交通不能区間の解消、南会津地方と県南地方との交流促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、白河市をはじめとする関係1市2町2村の首長で構成される国道289号（棚倉～下郷）建設促進協議会より早期整備の要望（平成16年11月16日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	【執行済み額】 事業費：100億円（進捗率53%）うち用地費：0.8億円（進捗率100%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	甲子トンネルの地質・環境調査および、地形的な制約による施工手順の限定から甲子トンネル工事着工までに時間を要したが、現在は事業進捗に係る問題は解消しており平成20年度の完成2車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	橋梁について合理化鉸桁、PC床版を用いる等コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

